



MORITA GROUP

人と地球のいのちを守る

株主・投資家の皆様へ

第89期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



証券コード 6455

BUSINESS REPORT

TOP MESSAGE ご挨拶

当社は、1907年(明治40年)の創業以来、長きにわたって、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいりました。これもひとえに株主様をはじめ関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

当社グループは、「人と地球のいのちを守る」というスローガンを掲げ、消防車両・防災・産業機械・環境車両の4つの事業を展開し、災害から人々の生命、財産、そしてかけがえのない地球の自然を守る企業グループであり続けること、またそのために一層の技術革新と挑戦を続け、新たな価値を創造することが私たちの使命であると考えております。

当社グループは、2025年度を最終年度とする中期経営計画《Morita Reborn 2025》で掲げる、「既存事業の収益力強化」、「海外事業・新規事業の育成、拡大」、「基礎研究力・新商品開発力の強化」、「革新力を持った人財の育成」、「CSR活動の推進」を基本方針とし、グローバルな総合防災ソリューション企業へと飛躍すべく確実に実行してまいります。これからも、広く社会から信頼される企業グループを目指し、全社一丸となって邁進してまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博

代表取締役 社長執行役員 尾形 和美

第89期第2四半期の概況

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
27,011 百万円	311 百万円	631 百万円	262 百万円
前年同期比 4.1%減 ↓	前年同期比 61.5%減 ↓	前年同期比 38.0%減 ↓	前年同期比 48.0%減 ↓

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が実施されるなど、社会・経済活動は厳しい状況が続き、依然として先行きは不透明であります。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、引き続き従業員をはじめとしたステークホルダーへの罹患リスク低減を図り、感染拡大防止に努めつつ企業活動を行ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、

売上高は27,011百万円(前年同期比1,151百万円減、4.1%減)、営業利益は311百万円(前年同期比498百万円減、61.5%減)、経常利益は631百万円(前年同期比387百万円減、38.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円(前年同期比241百万円減、48.0%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用したことにより、売上高は1,871百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は558百万円減少しております。

モリタ「危機管理産業展 (RISCON TOKYO) 2021」に出展

多様化する災害への備えとして、土砂災害・水害・被災者生活支援に関わる製品を展示

モリタは、本年10月20日(水)~22日(金)に東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展 (RISCON TOKYO) 2021」に出展いたしました。頻発するゲリラ豪雨・台風、それに伴い発生する土砂災害や、内水氾濫や河川の氾濫等による水害対策と、現場活動や避難所等での被災者生活支援対策のご提案として、電動資機材搬送車、排水ポンプ、簡易型止水板、バッテリー式LED投光器、可搬式電源装置等の実物展示をはじめ、移動式トイレカー、小型オフロード車、救助用エアポート等のパネル展示や、各種製品の映像放映を行いました。

モリタグループは、「人と地球のいのちを守る」というスローガンのもと、「グローバルな総合防災ソリューション企業」を目指し、多様化する災害に対応する製品・サービスの提供を実現してまいります。

電動資機材搬送車 EZ-Raider (イーゼットライダー)

「電動資機材搬送車 EZ-Raider」は、増加傾向にある突発災害などにより、瓦礫や土砂などが散乱する災害現場や山岳部、車両が進入できない狭い道など、資機材搬送が困難な場所で、絶大な威力を発揮します。

EZ-Raiderはフロントカートとリヤカートで構成され、フロントカート(4輪)及びリヤカート(2輪)すべてのホイールに高トルク電動モータを搭載しています。連結させると最大6輪駆動となり、より高い走破性を発揮します。大容量リチウムイオン電池と回生モータにより約45km~80kmの航続距離を確保しており、積載重量はフロントカート 200kg*+リヤカート 250kgで、最大 450kg*の物資搬送が可能です。

*乗員重量含む



高い走破性と強力な搬送能力を誇る
電動資機材搬送車

排水ポンプ (油圧駆動式・電動式)

河川氾濫などによる浸水・冠水現場での排水活動に貢献する排水ポンプユニット及び排水ポンプ車を提供しています。今回は、油圧駆動式、電動式の水中ポンプを実物展示いたしました。

①油圧駆動式小型排水ポンプユニット

ポンプ1台で揚程20m、最大約11,000L/minの排水が可能です。従来製品では10,000L/min以上排水するためには2台以上の水中ポンプが必要ですが、本製品であればポンプの運用台数が減るため、ポンプ設置時間・ホース延長時間の短縮、作業員の省人化に寄与します。エンジンや水中ポンプ等の装置は、ユニット内に収納されるためコンパクトで、平時は車載せずに防災倉庫などでの保管が可能です。



車両積載イメージ(2トラック)

②電動式排水ポンプ車

モリタの「電動式排水ポンプ車」は、排水量2,500L/min~30,000L/minまで幅広くラインナップしています。狭隘路や運転免許制度、排水規模など、お客様を取り巻く環境に応じて、最適な車両を選択いただけます。



浸水・冠水現場での排水時に活躍する排水ポンプ

簡易型止水板 Flood Guard F (フロード・ガード エフ)

近年、激増するゲリラ豪雨・台風や、水道管破裂等により、浸水被害が多発しています。「Flood Guard F」は、土のう・水のうの代わりに簡単に設置できる簡易型止水板です。一般的に使用される土のうが1袋約25kg程の重量であるのに対し、本製品は1台約4.4kgと軽量なため、少人数で簡単・スピーディに設置することができます。サイズを選択ができ、使用場所や環境に応じて配置の調整ができる他、設置の際に特殊工具も不要です。店舗・庁舎・公民館等のエントランスや、地下鉄駅・地下駐車場の出入り口などへの設置に最適です。

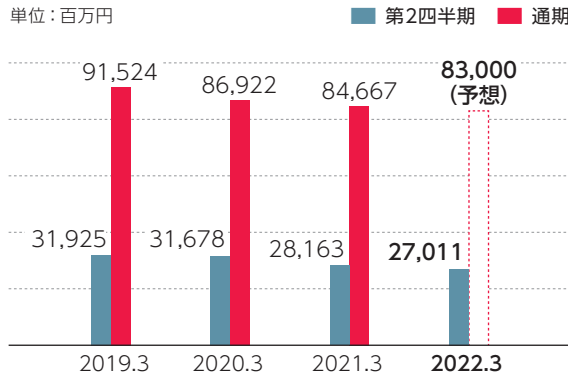


ゲリラ豪雨等による浸水対策に簡単に設置できる簡易型止水板
(左:サイド、右:倉庫入口)

財務ハイライト（連結）

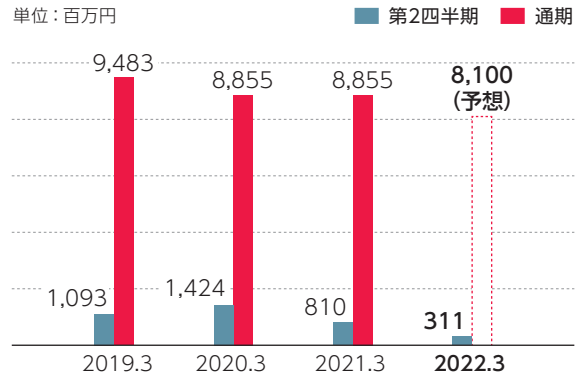
▶ 売上高

単位：百万円



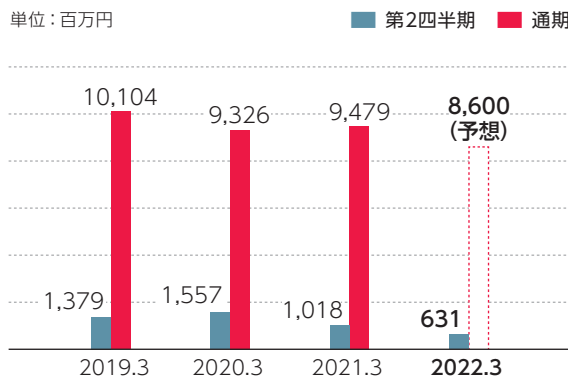
▶ 営業利益

単位：百万円



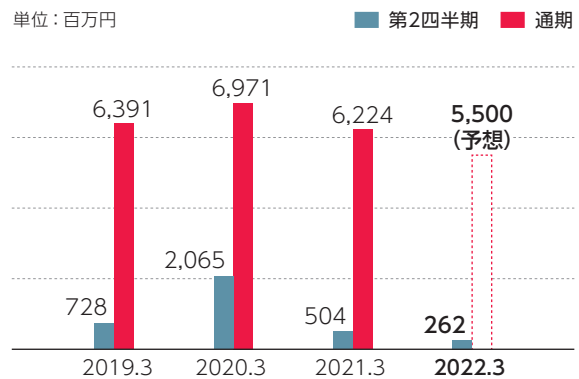
▶ 経常利益

単位：百万円



▶ 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

単位：百万円



(注) 2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用したことにより、第2四半期連結累計期間の売上高は1,871百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は558百万円減少しております。

セグメント別概況

防災事業

売上高

8,058百万円

前年同期比
10.5%増



セグメント利益

183百万円

前年同期は
114百万円の損失



消防車両事業

売上高

11,910百万円

前年同期比
14.6%減



セグメント損失

506百万円

前年同期は
378百万円の利益



環境車両事業

売上高

4,630百万円

前年同期比
5.1%減



セグメント利益

317百万円

前年同期比
1.4%増



産業機械事業

売上高

2,411百万円

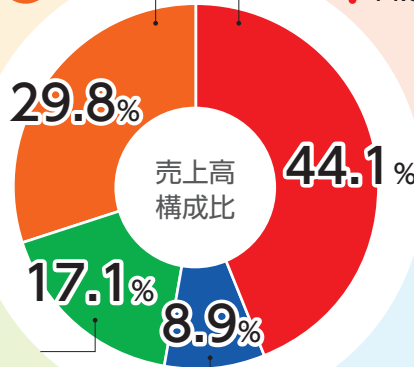
前年同期比
17.6%増



セグメント利益

317百万円

前年同期比
73.9%増



会社・株式情報

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	1907(明治40)年4月23日
設立	1932(昭和7)年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区芝5丁目36番7号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理 及び管理間接業務の受託

役員

代表取締役会長兼CEO	中島正博
代表取締役	尾形和美
取締役	森本邦夫
取締役	金岡真一
取締役	磯田光男
取締役	川西孝雄
取締役	北條正樹
常勤監査役	浅田栄治
常勤監査役	宮崎敦志
監査役	太田将
監査役	西村捷三
社長執行役員	尾形和美
常務執行役員	森本邦夫
常務執行役員	金岡真一
常務執行役員	村井信也
執行役員	伊藤満

株式のご案内

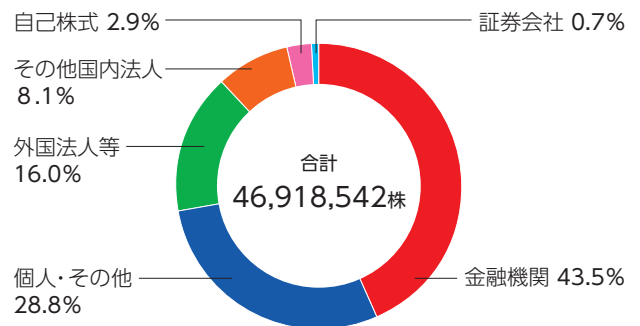
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載する。 https://www.morita119.com/ir/stock/kohkoku.html
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式数	100株

主要グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防 車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都江東区有明3丁目5番7号 消火器を中心とした消火関連機器、消火 装置、その他各種防災機器・設備の開 発・製造・販売
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理 施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の 開発・製造・販売
株式会社モリタエコノス	兵庫県三田市テクノパーク28番地 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・ 製造・販売
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサー ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器 具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開 発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2021年9月30日現在



大株主(上位10名)

2021年9月30日現在

株主名	持株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,123
第一生命保険株式会社	3,265
モリタ取引先持株会	2,306
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
株式会社三菱UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,974
エア・ウォーター株式会社	1,730
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	1,223

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式1,345千株を保有しております。

人と地球のいのちを守る

MORITA
株式会社モリタホールディングス

[大阪本社]
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
☎06-6208-1907

[東京本社]
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番7号
☎03-6400-3480

<https://www.morita119.com>



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。